

科目名 Course Name	海外研修Ⅱ Overseas Study II				ナンバリング No.		
年次	1年	期別	集中	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	堤 裕美子						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	D2、D5、D6						
授業の概要と 到達目標	海外研修の心得を学び、その上で研修先の社会生活に関する学習を重ね、2月に現地で観光、施設訪問等の日常生活や現地学生との交流を経験し、異文化体験を行う。 ①国際的な感覚を体得できるようにする。 ②外国の現代社会を自らの体験から捉えることができるようにする。 ③外国の観点から日本社会を考える機会を持ち、自らの価値観に反映させることができるようにする。						
授業の方法	事前指導の中の英会話や国際マナーを確認し、5日間現地で施設訪問や日常生活体験をする。						
学習成果	L01						
	L02	外国と比較した時の、日本の特徴を見い出せるようになる。					
	L03						
	L04	国際的な感覚で現代の社会を考察することができるようになる。					
課題に対する フィードバック	課題に対する理想回答として模範例を示す。内容に関しては評価を各自に伝える。						
教科書/ 参考図書							
履修上の留意点 やルール等	海外旅行前の手続きは遅れないよう留意し、渡航先では安全と健康に注意し団体行動のルールを心がけること。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	事前指導に休まず、会話等の準備を積極的にする。		20		
レポート/作品	研修中の経験を良く考えて、思慮に富んで洞察力に満ちたレポートを書く。				40
発表					
小テスト					
試験					
その他	海外にいる間、団体およびグループ活動の態度が良く、学習的な雰囲気を提供する。				40
合 計			20		80

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(研修概要・渡航手続・研修先での諸注意)
	事前・事後学習	研修出発日までのガイダンス、各種手続き申し込み締め切り日をスケジュールに組む。
2	授業内容	目的地の自然環境・歴史・文化・経済等の概略。渡航手続き。
	事前・事後学習	学習成果をノートにまとめ、どんな文化、歴史を持つ場所を訪れるのか認識を持つ。
3	授業内容	トラベル英会話(飛行機の中で)。渡航手続き。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
4	授業内容	トラベル英会話(現地の空港手続き)。渡航手続き。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
5	授業内容	トラベル英会話(外食:レストランにて/ファストフードにて)。渡航手続き。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
6	授業内容	トラベル英会話(ホテルにて)。渡航手続き。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
7	授業内容	トラベル英会話(買い物をする時に知っておくと便利な表現)。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
8	授業内容	トラベル英会話(現地の人や観光客と楽しく短い会話を楽しむ表現・気軽な挨拶の仕方)。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
9	授業内容	現地での活動について(異文化への理解と国際マナー)。
	事前・事後学習	異文化理解について疑問点をまとめる。
10	授業内容	現地での活動について(ホテル滞在のマナーとルール・部屋での防犯について)。
	事前・事後学習	フロントに電話をかける英会話を復習し練習する。
11	授業内容	現地での活動について(ショッピングを楽しむ:交渉/お釣りについて)。
	事前・事後学習	オーストラリアドルの紙幣、硬貨を復習し、見慣れておく。クレジットカードの紛失への対処をメモしておく。
12	授業内容	現地での活動について(オプションツアーや学生交流について)。
	事前・事後学習	現地学生との交流で質問したいことや使用する英語表現を調べてまとめておく。
13	授業内容	現地での活動について(防犯の基礎知識・万が一の連絡方法について)。
	事前・事後学習	留守宅用のしおりを家族に必ず渡し、緊急連絡先のページを確認してもらうこと。
14	授業内容	反省会
	事前・事後学習	発表の準備をする。
15	授業内容	研修レポートの発表
	事前・事後学習	自分の発表の成果および参加者の発表を聞いて国際理解を深める。